

化学療法に関する取り組みについて

- ・ 外来治療室にて急変事例が発生した場合、速やかに主治医もしくは外来治療室担当医に連絡し、迅速かつ適切な急変時対応を行う。また、患者の状態によってC Aコールを行う。
- ・ 急変事例では、軽症あるいは中等症の場合は主治医の指示により帰宅または経過観察入院、重症の場合は入院とする。
- ・ アナフィラキシー事例では、遅発性アナフィラキシーの可能性があるため原則経過観察入院とする。
- ・ 患者及びご家族から、緊急時の電話での相談は 24 時間対応する。平日日中は各科外来または外来治療室、夜間・休日・平日時間外は救急センターで対応を行う。
- ・ 急変時や緊急時は当院を受診し、必要に応じて入院受け入れを行う。
- ・ 患者様の化学療法の治療内容について評価し、承認する委員会を毎月開催します。